



磐田市歴史文書館

令和2年 12月2日

文書館だより

第16号

磐田市教育委員会教育部文化財課 歴史文書館

第24回企画展「磐田の産業史」開催中！！

— 磐田の近代を支えた茶、煙草、甘藷切干、そして銀行 —

現在、新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済が多大の影響を受けて混乱していますが、近代においても感染症の大流行により多くの産業が低迷したことがありました。しかし、そのような中でも多くの産業が生まれ、磐田の発展を支えてきました。

「茶」は、明治時代の初めに旧幕臣・赤松則良らにより茶園が開墾され、福田港から汽船で横浜港へと運ばれ、海外へ輸出されました。

「甘藷切干」は、現在広く流通している「蒸し切干」が、大藤村・井戸ヶ谷の大庭林蔵・稲垣甚右衛門により生み出され、「井戸ヶ谷切干」の名で各地に広がりました。



第一展示室



第二展示室

「煙草」は江戸時代から栽培され、明治時代に品種改良を重ね、「遠州葉」が生まれました。同時期、見付には多くの煙草製造業者が創業し、中でも「栗田煙草合資会社」は製造・販売を手広く行っていました。栗田家資料の「製造煙草売渡帳」からは、「栗田煙草」で製造した刻み煙草を自店だけでなく、近隣の村や静岡県内各町村の小売人にまで売り渡していたことが分かります。

また、見付には近隣の葉煙草が集まり、それを加工する工場も10軒以上操業していました。各製造人は販売を拡大するため包装紙の意匠にもこだわっており、「栗田煙草」の包装紙印刷に使用した版木も多く残されています。

そしてこれらの産業を資金面から支え、磐田の発展に貢献したのが「銀行」でした。

本企画展では、磐田で生まれた「茶、煙草、甘藷切干」が今につながる「磐田の産業」となるまでを、当館所蔵資料を中心に、展示・解説しています。現代まで続く「産業」のはじまりの物語に触れてみませんか。皆様のご来場をお待ちしています。



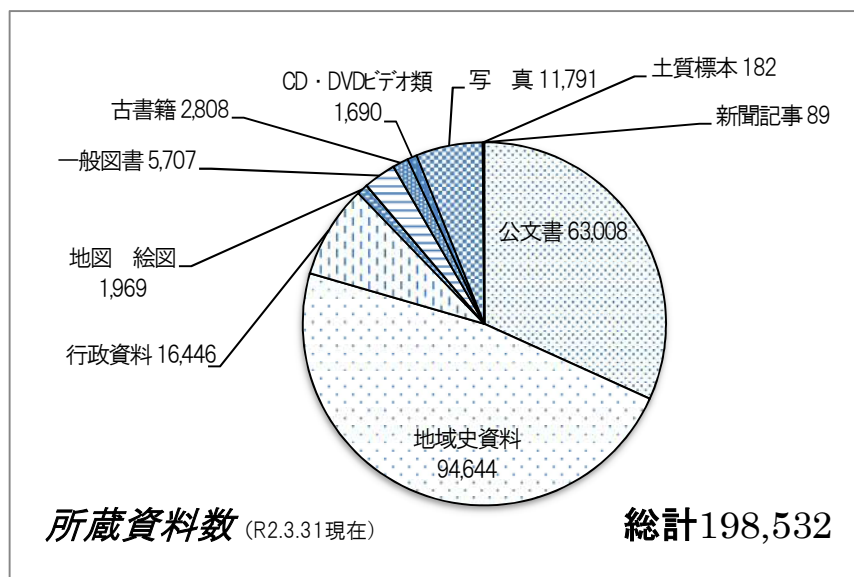
【12月18日(金)まで】
(平日のみ)

古文書ボランティア

初級から上級までの当館古文書講座を受講した17名の方が、寺谷村（現磐田市）の明治初年の『御用留』を翻刻し、年度末の報告書刊行に向けて精力的に取り組んでいます。



所蔵資料数(令和元年度末)



令和元年度末の所蔵資料数は、左のグラフのとおり合計198,532点となりました。

公文書は、保存期限が満了したものを選別し、歴史的・文化的に重要な文書、説明責任上で保存すべき文書など63,008点を保存しています。

また、地域史資料として、「匂坂中村絵図」「匂坂上自治会文書」など計4,131点を新たに寄贈していただきました。

お知らせ

1 第24回企画展「磐田の産業史」

と き：令和3年1月9日（土）～17日（日）午前9時～午後6時
（土・日曜日は午後5時まで 11日(月)は休館）入場無料
ところ：磐田市立中央図書館展示室

2 歴史学習会「磐田の産業史を語る」

講 師：小杉 達氏（磐田市文化財保護審議会副会長、磐田市歴史文書館運営審議会会長）
当館職員
と き：令和3年1月9日（土）午前10時30分～12時 午前10時開場
ところ：磐田市立中央図書館 2F 視聴覚ホール
定 員：40人（先着順） 参加費：無料 ※コロナ感染状況により中止の場合があります。
申 込：12月25日(金)午前9時～電話で歴史文書館へ（1人につき受付は2名分まで）



最近、増えています！
こんな時には御相談ください。

- 古い家や蔵を壊すので、古文書や古写真などの資料を、磐田市へ寄贈したい。
- 郷土や先祖の研究のため、資料を紹介してほしい。



磐田市歴史文書館

所在地 〒438-0292 磐田市岡729-1
電話 0538(66)9112
FAX 0538(66)9722
E-Mail chiikishi@city.iwata.lg.jp
休館日 土日・祝日・年末年始
開館時間 午前9時～午後5時